



2015年度 事業報告書

認定NPO法人 国際インフラパートナーズ

1 事業の成果

広く世界の人々のために、社会経済基盤施設（インフラストラクチャー）の整備・管理に関する事業等を内外の関係者と協力連携して行い、開発途上国等の国土整備・管理に協力することにより、持続可能な社会経済の発展を実現し、わが国の安全・繁栄に寄与することを目的に活動を行います。

上記の活動方針を実現するため、各方面との交流を深め、かつ共同活動を行うことに努めました。

① 経済技術協力事業

(イ) JICA草の根協力事業： 2012年6月～2014年9月に実施したJICA草の根支援事業のミャンマー連邦共和国「エーヤワディ・デルタ地域における労働集約型路面処理技術の人的資源開発事業」の成果を受けて、2016年2月に予備調査団を派遣し、新たにJICA草の根協力事業パートナー型「貧困地域における労働集約型簡易舗装工事実施支援事業」を2016年4月に受託契約することができました。2016年6月に事業のキックオフ調査団を派遣し事業の実施内容をミャンマー建設省と合意し、協力の内容をMM(Minute of Meeting)として双方の署名により確認しました。

また、2015年8月の日本道路会議を機会にポスターセッションに参加し、JICA草の根支援事業によるミャンマーでのアスファルトマカダム舗装技術協力を紹介し、事業の広報活動を行いました。

(ロ) 外務省NGOプロジェクト調査補助事業：ミャンマー Bago地方Kyauktaga Township, Itone Creek 橋災害復旧工事の予備調査を外務省NGO調査補助により行いました。この現地調査により外務省連携無償案件申請に必要なデータ取得、現地地方政府の合意取得や設計・水文検討などを実施しました。

② 技術移転事業

わが国の舗装技術の進歩を紹介する「語り継ぐ舗装技術」の翻訳改訂版を印刷しました。(100部)

③ 技術交流事業としてミャンマー公共事業庁長官 U Kyaw Linn 氏の来日時に合わせて、わが国技術者との交流会を実施しました。(2015年8月)

④ 相互理解・友好関係の増進として、会員・賛助会員により設立10周年交流会を催し、また総会・年末にも交流会を行いました。

⑤ 内部組織として、企画調整委員会を設置し機動的な意思決定の組織化を図りました。

また、2015年3月に「主たる事務所」を千代田区の「ちよだプラットフォームクウェア」1266に移し移転しましたが、これまでの早稲田事務所にて事務業務を実施しています。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
(1) 経済技術協力等事業	(イ) JICA草の根協力事業パートナー型(ミャンマー国労働集約型簡易舗装技術実施支援協力)の受注と現地調査の実施、日本道路会議ポスターセッションに参加し事業を紹介、	2016.4～2016.6	ヤンゴン ネピドー エーヤワディ 東京	100 内日本20、 ミャンマー80	業務参加者、簡易舗装技術マニュアル対象、地域住民、1,500万人 (人口の1/4)	6,663 (実額：4,630)
	(ロ) 外務省NGOプロジェクト調査によりミャンマー国Itone Creek橋現地調査実施	2016.5～6	ヤンゴン、キョウタガ、ネピドー、パトック	35 日 5 ミャンマー30	10,000人	
(2) 技術移転等事業	「語り継ぐ舗装技術」の英語翻訳を改訂印刷	2016.6	東京	2	100人	0 (0)
(3) 技術交流等事業	来日技術者との交流	2015.8	東京	6	日 50人 ミャンマー 3人	169 (105)
(4) 相互理解・友好関係の増進	会員相互の交流	2015.10	東京	20	100人	523 (28)
(2) その他の事業 特になし。						